★見守り・声掛け・安否確認が必要な方のために…

スウェーデンの理想に生まれ、
日本のテクノロジーが育てた
介護用アラームセンサーシステム
〈テンタクルズ〉。

tentaculus

independent living

介護・福祉施設や高齢者住宅での マンパワーを補ってくれます。

●入居者やご家族の安心

一人でできることが増え、生活の質が改善します。

●介護スタッフの安心

頻回な見回りや声掛けが減り、事故への不安も軽減します。

●施設経営者の安心

入居者やご家族に信頼され、スタッフの満足度も向上します。

介護・福祉施設及び高齢者住宅、在宅における認知機能補助アラームセンサー。

福祉先進国の北欧では、福祉施設や高齢者住宅で初期から中等度までの認知症の方へ認知機能を補助するアラームセンサーが有効に使われています。

服薬、就寝、起床、歯磨き、洗面、戸締り、電化製品消し忘れなどを音声や光、メールで「思い出させる」「誘導する」「警告する」

薬の飲み忘れ、徘徊など異常な出来事は介護スタッフにすぐに自動通報します。

先行予約受付中!

2013年10月発売予定

■お問い合わせ

製造販売元

株式会社　オカエ
(相模原営業所内)
神奈川県相模原市南区下溝 4378
E-mail HQM06247@nifty.com

Fax 042(778)3025
Tel 042(778)1657
042(778)2067

tentaculus

independent living

なぜ tentaculusが選ばれるのか

- 個人の必要に合わせた機能
- 声掛け誘導など、介護行為を補助する機能
- 機能追加が簡単
- 機能削除が簡単
- 一つのシステムで全てをカバー
- 同じシステムで様々な住居スタイルに使用可能
- 設置が簡単
- 利用者の馴染みの音声による誘導でユーザーフレンドリー
- 行動モニタリングしていることを意識させにくい

なにが tentaculusに出来るのか

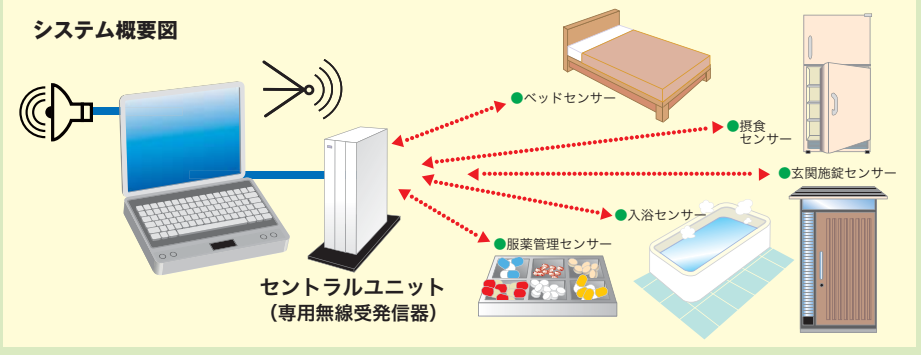
- 日常の生活習慣補助
- 行動の開始、停止の補助
- 安心して就寝するベッドセンサー
- 入浴時間の案内
- 排せつ時間の案内
- 服薬時間の案内
- 服薬忘れや間違いの警告
- ドアや窓の施錠確認

tentaculusの歴史

1983年　○スウェーデンにてBertil Örn氏が障害を持つ自分の家族のために自ら開発を始めた。
○カロリンスカ研究所、スウェーデン王立工科大学の研究者たちと開発を進め、現在スウェーデン、ノルウェー、アメリカ合衆国、欧州特許庁、日本で特許取得

2013年　○日本の介護・福祉の状況に合わせた改良がなされ、発売開始（予定）

システム概要図と発売予定価格



お客様のパソコン
（Windows）

＋

基幹システム

ご購入プラン	１部屋用　１２万円（税込１２万６千円） ５部屋用　５０万円（税込５２万５千円）
レンタルプラン （最低レンタル期間６ヶ月以上）	１部屋用　月額１万円（税込１万５百円） ５部屋用　月額４万円（税込４万２千円）

※基幹システムは、専用無線受発信器とスピーカー、tentaculusソフトのみの価格です。端末センサーの価格は含まれておりません。

＋

端末センサー

ご購入プラン	１機能につき６万円（税込６万３千円）
セレクトレンタルプラン	月額１万円(税込1万5百円)で３機能まで自由設定
パッケージレンタルプラン	月額３万円(税込3万1千5百円)で全ての機能を設定

※（最低レンタル期間６か月以上から１か月単位にてお申込みを受付いたします。）
※tentaculusは基幹システムに加え、各機能の端末センサーを必ず１つ以上組合わせて使用します。